

日 時	タイトル名	場所 席 座	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
11/16 (金)	開演 19:00 (開場 18:30) 金曜トークサロン 第40回記念 ～会いたい・知りたい・つながりたい～ ゾンシャン ていだん ～奈良ゾンタクラブからのメッセージ～	レパジョンホール 全席自由	1,000円 (コーヒーか紅茶付)	発売中 [ホ]	×
ゲスト: 上田 トクエ、島本 郁子、島本 太香子 聞き手: 松本 真理子 (マリンバ奏者、大和郡山市音楽芸術協会特別顧問、DMG MORI やまと郡山城ホールアドバイザー)					
11/17 (土)	開演 14:00 (開場 13:30) 奈良フィルサロンコンサート 音楽の土曜日 vol.161 童謡100周年 ～歌い継がれる名歌たち～	レパジョンホール 全席自由	2,000円 (ドリンク付)	発売中 [ホ]	×
出演: 奥野 泰子 (ソプラノ)、谷口 淳子 (ピアノ)、袴田 さやか (ヴァイオリン) 曲目: 愛燦燦/小椋 佳、川の流れるように/見岳 草、この道/山田 耕祐 ほか					
12/23 (日・祝)	開演 14:00 (開場 13:30) 音楽のおくりもの '18	小ホール 全席指定	500円 ※3歳未満は無料ですが、お席が必要な場合は有料。	11月4日(日) 10時～発売 電話予約は午後1時より [ホ]	○
出演: 三の丸少年少女合唱団、やまと郡山城ホール少年少女マリンバ教室(6年生)、大和郡山市音楽芸術協会会員					
平成31年 1/20 (日)	開演 15:00 (開場 14:30) 奈良フィルニューイヤーコンサート2019 ～オーケストラ名曲アルバム～	大ホール 全席指定	一般: 3,000円 学生(小・中・高・大学生): 1,500円 (共に当日500円増)	発売中 [ホ][口][e+]	×
指揮: 栗辻 聡、ソプラノ: 大原 末子、テノール: 谷 浩一郎、オーケストラ: 奈良フィルハーモニー管弦楽団、合唱: 奈良フィルハーモニー・ニューイヤー混声合唱団、曲目: レ・ミゼラブル、民衆の歌、サウンドオブミュージックメドレー、踊り明かそう ほか					
平成31年 2/17 (日)	開演 14:00 (開場 13:30) 秋川雅史コンサート ～聴いてよく分かるクラシック2～	大ホール 全席指定	一般: 4,000円 メイト会員: 3,600円 (共に当日500円増)	発売中 [ホ][口][e+]	×
秋川雅史が400年に渡るクラシック音楽の歴史をわかりやすく解説しながら進めていくコンサート。出演: 秋川 雅史 ほか					

※チケット欄の記号 = 発売場所 [ホ]: DMG MORI やまと郡山城ホール窓口 [口]: チケットぴあ [e+]: イープラス



市長てくてく城下町 161

大和の誇り忘れるべからず

大和郡市長 上田 清

先日ある本屋さんの明治150年記念コーナーで『大和維新』～新政府に独立運動を仕掛けた男～という本に出会いました(植松三十里著)。

主人公は今村謹三(1851～1924)で、大和郡山市ともゆかりの深い人物です。

今の安堵町で代々庄屋をつとめる家に生まれた謹三が若くして庄屋になってまもなく、奈良県は明治9(1876)年に堺県に合併され、さらに明治14年には大阪府に吸収合併されてしまいます。

その年、謹三は大阪府会議員に選出されますが議員の数は人口比だったため、道路の整備や災害の復旧など、予算の配分で大和はことごとく不利な状況に追い込まれていきました。

そうしたなか謹三らを中心に進められることになる奈良県再設置運動は想像を絶する苦労の連続で、東京まで行くにもまずは人力車で大阪に出て小船で兵庫に渡り、蒸気船で横浜に向かわなければならず、

しかも政府に面会を申し入れても時には1か月も待たされるという始末でした。

何度も何度も挫折し、あきらめかけた運動が実ったのは明治20年11月4日のことで、裁可した伊藤博文の署名は奈良県の財産です。

その後、謹三は初代奈良県議会議長、衆議院議員を経て実業家に転じ、大阪・奈良間の鉄道敷設や奈良県農工銀行の創設、あるいは近代の郡山を支えた郡山紡績の立て直しなど大活躍をします。

ところで謹三が10代のころ面識のあった国学者の伴林光平ともはやしみつひろは尊皇攘夷に関心の低い郡山藩を批判する垂れ幕を郡山柳町おおもんの大門に掲げ、直後に天誅組の変が勃発。『大和維新』では、これに参加し、その後処刑された光平が謹三に残した言葉を「大和の誇り忘れるべからず」としています。

謹三をはじめ、当時の人たちの苦労が今につながっていることに感謝しなければと思います。

